

## 鳴門市人権地域フォーラムに参加された方々の感想です

○ 部落差別を正しく知り、みんなで解決していくことが大切であることを再認識した時間になりました。身近なところから何でも話し合い解決していかなければいけないと強く思いました。

○ 本気で語れる人権集会であると実感しました。みんな一人一人、人生の中でいろんな経験や思いをもって生活しています。気持ちを共有し、思いと思いが繋がる集会は参加しているすべての人に元気と勇気を与えます。ありがとうございました。

○ 人権学習を積み上げた松茂中2年の子どもたちの発言は、中学生の等身大の気持ちを声にしていて感動しました。被差別部落出身の子どもたちに、いつ伝えるか、「ひとごと」ではなく、どこかでそのことで苦しんでいた、悩んでいる人たちがいるということを知り、「わがごと」として考えられるようになりたいと思いました。

○ 中野さんのお話を聞いて、涙が止まらなくなりました。私は教師をしています、子どもと本気に向き合うとはどういうことか。自分は自分を親として、教師として、どう変えていかなければならないかを考えさせられました。今、私は自分を見失っている気がします。自分の生き方を見直さなければならぬと思います。

○ 同情して「かわいそう」と捉えるのではなく、自分自身のこととして考えていかなければならないのだと思いました。いろんな人たちが体験してきたことを自分の中に取り入れて、自分の将来に活かしていきたいと強く思いました。

○ 大型スクリーンを使っただけの説明はとても分かりやすく有意義で効果があると思います。参加して大変勉強になりました。皆さんの語りに大きく刺激を受けました。実態に迫った本音の話が聞けて心が揺さぶられました。こんな体験を子どもたちにさせたいと思いました。

○ 私が悩まずにすんでいたこと。世の中の多くの親が悩まずにすんだことである自分の出生のことを娘に話すかどうかについて、ここまで悩まずにはいられない人がいるということから、やはりまだまだ同和問題について考える必要があると思います。人権問題・同和問題に積極的に取り組んで本当に行動にうつし本当に「わがごと」として考えているステージ上の人やこの会に出席している人のすばらしさに感動です。

○ 森口先生と同時代、板野東小学校で勤務し、板野東小学校で全体学習に取り組みました。6年生で立場の自覚をし、そのための6年間を系統だてて育て、仲間を育て、板野中学校に送り込もうという全校での熱い熱い取組でした。本気の学習、本気の取組、本気の語り。あのころしていたことを今も同じ熱でできているか、自分に問い返す時間になりました。パネリストの方々のお話を旨に、島藤さんがおっしゃった自分の出来ることを自分のステージで精一杯本気でやろう、生きていこうと強く改めて思いました。

職員室で保護者の前で、子どもの前で、ありのままの自分を語り、また、ありのままを語り合える教職員集団をつくらうと思います。改めて教育の責任の重さと教育のすばらしさ、可能性も感じました。伸二さんに恥ずかしくない生き方をしたいと思いました。「ひとごと」にしない生き方を常に自分に突きつけていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

- 来てよかったです。人権学習が大好きになりました。
- 自分も同和地区出身ですが、部落問題について深く考えることがなかったので、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 熱いフォーラムでした。皆さんの気持ちがよく伝わりました。中野伸二さん、すばらしいお父さんです。
- 『『言えない』をつくっているのはだれ?』という直球勝負のテーマが吉成先生より出された。曖昧にするのではなく、明確な答えを出し、その改善へ向けて進んでいくべきである。私はやっぱり「学校の先生」だと思う。本気の同和教育が定着していけば、部落の子は部落のことを言える。他の差別問題も自分は被差別だということが言える。本気の同和教育の定着をさらに、声高く訴えていくべきだ。
- みんなで考えるフォーラムであったような気がします。
- とても素晴らしく、語りたいたい気持ちになりました。伸二さんの思いは娘さんたちにも伝わったと思います。素敵な家族でとてもうらやましいと思います。誇りをもって生きていけると思います。学校の子どもたちにも伝えていきます。
- 本音で考え、本音を語り、人と人が信頼しつなかりが生まれるのだと痛感しました。自分を見つめ直したいと思います。人と人のつながりってすばらしいと思いました。
- 参加者の熱量、思いに圧倒される気持ちでした。本気の思いを受けて自分自身これからの教育を見つめ直していきたいと思いました。
- 子どもに自分の生きざまを見せている伸二さんはとてもかっこいいです。親になって、子どもは守らないかんという気持ちは強くなりました。自分の子どもが差別をしない、差別を無くす人に育てて欲しいと思いながら生活しなければならぬと再確認しました。  
いろいろな仲間をつくって、正しい知識をもって、みんなでなくしていきたいと思います。子どもたちが人権を尊重し、自分の人生を自信を持って堂々と生きていけるように、まず自分から行動していきたいと思います。
- 今まで人権研修等で学んできたつもりであったが、どっかで「ひとごと」の意識があったと感じさせられた。今日は実際の踏み込んだ話を聞いて、「自分のこと」として考えることの大切さを学ぶことができたと思う。
- パネリストの方々の話はとても参考になり、自分の心に刺さるものがありました。自分も人権・同和教育に「ひとごと」として取り組み出して、たったの5年目ですが、やっていく中で悩むことも多くあります。もやもやする部分や分からないところをこの場で聞きけたらよかったけど、できずに少し残念でした。自分たち教員が、このいろいろな不安をもった子どもたち、保護者にどうよりそい関わっていけばいいか、考え、人が人として堂々といけるような社会づくりの人権学習をしていきたいです。

○ 久しぶりに制限なしということで、会場一杯の人と共に学ぶことができました。皆さん、ありがとうございました。

○ 久しぶりに参加させてもらいました。やっぱりよかったです。心が洗われます。本当に自分に向き合う時間を人権・同和教育をくれます。共感と連帯、共感する生き方、共感できる人間でありたいし、差別の現実学び、現実から生き方を見つめられる生き方、それに共感できる人になっていく、改めて生きることを考え、学ぶ時間になりました。ありがとうございました。

○ 中野さんの生き方、すばらしいと思ったし、その中野さんを育てた森口先生、吉成先生にも、あらためて敬意を表したいと思います。やっぱり出会い、つながりが人を変えていくといろいろと改めて実感し、自分の意識も高まったと思います。中野さんのような人間関係を自分もつくりたいと思うし、また、この場に来たいと思える素晴らしい時間でした。ありがとうございました。

○ 学校に勤める者の一人として子どもたちのしんどい思いをどう受けとめていくか、吐き出せる場はあるかなど、自分の日常をみつめる大事な時間となりました。ありがとうございました。

○ 「ことだま」という言葉がある通り、「ひと言」「ひと言」に熱があり、「たましい」を感じました。自分が学生のときにこういった人権を学ぶ授業があれば、森口先生や吉成先生がいらっしゃったらと思いましたが、過去を振り返るのではなく、未来に向かって前進していきます。何より、私も教師として、周りに求めていくのではなく、自分の周りの意識を変えていきたいと思いました。そして、目の前にいる子ども一人一人を「丸ごと」受けとめ、小さい子どもであっても本気で向き合っていきます。中野さんのようにカッコいい生きざまを子どもたちにみせている父親は日本にいったい何人いるでしょう。あんちゃん、しーちゃん、幸せだね。このフォーラムに参加できて本当によかったです。今日から「わがこと」として生きていきます。

○ 生の声を聞くことで、自分のこととして考えることの大切さ、今自分は何ができるのか考えさせられる会でした。まずは、今身近なものから知り、自分にできることをやっていきたいと思いました。

○ 人権について深く考えたり、いろいろな人たちの話を聞いたりする貴重な機会になりました。毎日何気なくすごして何も知らずしてこなかった自分を恥ずかしいと思いました。同世代の伸二さんの姿に励まされました。今日から頑張ります。

○ 一人の人間として、行政で働く今の立場の人間として、そして、孫や子どもが育っていく差別のない社会を創っていく人として少しずつ小さなことからまず行動していく。自分自身に向き合う機会を持てたことに感謝です。お世話になりました。

○ 15年ぶりの参加となりました。大変有意義な時間となりました。もっと皆さんの語りを聞きたかったです。

○ 教師をしています。パネリストの3人の話を聞いて、部落問題をなくしていこうと頑張っているのは、当事者の方であることに情けなく思いました。あんちゃん、しーちゃんが30年後、40年後、楽しく強く生活できる世界になれるように子どもたちに伝えていきたいと思いました。

○ 言霊は人に伝わる。教師が本気で語ると生徒の心に響く、寝た子を起こすなと周りからのプレッシャーもある。それでも、本気で生徒たちを幸せにしたいと思う。私は地域に足を運び、差別の現実学び続けます。周りの人、伸二さんの娘のため、自分の大切な家族のために。

○ 40年前、同和教育主事として学習会での学びを子どもたちと考えたことを思い出しました。夏休みの自由研究をして小学校6年生の児童3人と学習会の歴史を学び、学習会に学ぶ自分たちの決意をまとめたことです。A子は親からの話も加え力強く綴りました。私は安心して中学校へ送り出したのですが、そのA子が、「学習会に行きよん？」との友達の言葉に落ち込んでしまった。とても悩んでいたとのことでした。でも、いっしょに学んでいた学習会の仲間や家族、担任の支えで、また立ち直れたと県の人権に関する意見発表会で強く訴えることができました。でも、今も私は反省しながら今のA子を見続けています。今日もありがとうございました。

○ 自分の病気による後遺症(見てすぐ分かるもの)や子どもの発達障害など、日々自分を高めて生きていこうと思いつつもつぶされそうな毎日です。落ち込むことをおそれ、本当の自分をさらけ出していないのだと思います。少しずつ生きる喜びを見いだしていきたいと思います。

○ 今日は、ありがとう。語り合いました。本当に来てよかったです。

○ 同和教育は時間を超え、場所を超えることを実感しています。17年前の森口さんとの出会い、17年間の時間と場所を超えて、そこからつながり直し、学び直し、出会い直し、これからもよろしくお願いします。

○ 初めて人権地域フォーラムに参加させていただきました。教師になって2年目ですが、自分自身が目の前の子どもたちに本気になれるか振り返る機会となり、「きれいごと」で片付けていないか、子どもが語る機会を奪っていないか反省しました。今日の学びとパネリストの方々から学んだことを明日からの保育につなげていきたいと思いません。ありがとうございました。

○ 部落問題を軽く思っていたけど、根が深く考えさせられました。私も力をもらいました。頑張りましょう。ありがとうございました。

○ 今、人権教育に関わる仕事をさせていただいて、60歳すぎても日々勉強、そして、今自分にできることを精一杯取り組んでいます。今日もいい刺激を受けました。伸二くん、兄ちゃんともまた会いたいです。

○ 全ての人の人権が確実に保障され、明るい未来の展望をもって生き抜いていける世界の実現に向けて、グローバルに討論ができる機会をぜひ設けていただきたい。

○ パネリストの話がとても感動するものでした。これを機にもっと人権について学んでいきたいと思いました。

○ 久しぶりに人権について勉強することができて楽しかったです。高校での人権教育とは全く違った現場の声やリアルな声を聞くことができて楽しかったです。将来のことについて考える機会が増え、悩むことは多々ありますが、ど

のような将来になったとしても、人権についてはずっと考えていきたいと思います。

○ 幸せだと言える森口先生、森口先生と関わっている人たち、その人たちが幸せになるのをみて、自分も幸せな気持ちになれました。すごくいい会でした。ありがとうございました。

○ もう少し語り合う時間が欲しかった。「サライ」はとってもよかった。また来年参加したいと思えた。

○ 久しぶりに参加でき、出会えて、感じる場になり、ありがとうございました。また帰って仲間と子どもたちと一緒に歩みを続けていきたいと思います。伸二さんの姿が必ず子どもたちの道しるべになると思います。

○ 伸二さんの涙や姿に大変心を打たれました。今後活かしたいと思います。ありがとうございました。

○ 自分と向き合うことの大切さや大人達がどれだけ、本気になれるかが子どもの未来を決めていくことがよく分かりました。

○ 大人たちが中学生の自分たちの意見を大切に尊重してくれていることを知りました。そして、自分たちでも社会をよくしていくことができるのではないかと考えました。今日は中学生だけの意見ではなく、大人の意見を聞くことができるとてもよかったです。島に帰ってたくさんの人に伝えていきたいと思いました。

○ 中野さんがあーちゃんとちーちゃんに、自分が部落で生まれ育ったということを伝えるかとても悩んだと言っていて、伝えたらどんな思いをさせるのか不安だと言っていました。私も母が部落で生まれ育ちました。でも私は変かもしれませんが、そのことを誇りに思っています。なぜなら、身近に部落を考えさせられる環境があるからこそ、真剣に考えられるようになったからです。

○ 今まで私はみんなで認め合うことが大切だと思っていたけど、それだけではなく、まずは「自分で自分を認める」ことが大切なんだと気づかされました。自分の個性や思いを受け止め、楽しく生活を送りたいです。

○ 森口先生やパネリストの方の一言一言に重みを感じました。自分にはまだ見えていないことがある、見えるようになりたいと思いました。残りの教員人生、生徒たちと共に成長していきたいです。

○ 今回初めて参加させていただきました。パネリストの皆さんの熱い思いをしっかりと受け止めて、今後の教育活動に活かしていこうと感じました。2学期からも人権学習に真摯に取り組んでいきます。ありがとうございました。

○ 以前、板野の小学校に勤務していた時、板野中学校の全体学習について知り、実際に小学校の6年生での全体学習の授業を参観したことがあります。心友会や学習会のその後、どう子どもたちが成長したか、どのように暮らしているのかを知ること、勤務先が変わると携わることが難しくなることは確かにそう思います。

「『言えない』をつくっているのはだれ？」「『寝た子をおこすな』で寝た子ってだれ？」というように、人権教育の大切さ、人権教育をどのように実践していくべきか、私たち教職員も「わがこと」として、熱く訴えていく。心に届く授業をしていかねばいけないことを改めて考えさせられました。

○ この度は、人権フォーラムに参加させていただきありがとうございました。涙ながらに話す皆さんを見て、「わがごと」として考えずにはいられませんでした。お父さん(伸二さん)の姿を見て、何も考えずに悩まずに「言える世界」「話せる世界」になるよう自分にできることを考えたいと思いました。ありがとうございました。

○ 今日は、フォーラムに行きました。八万中の子と座って、森口先生や吉成先生、伸二さんや佐伯さんのお話を聞きました。それで私が思ったことは、「幸せな人を見ると、自分も幸せな気持ちになれる」です。森口先生は、伸二さんたちと話すことが幸せだとおっしゃっていて、そのことを伸二さんも幸せだと思っていると思います。また、伸二さんは娘さんに、泣きながら「この子たちの幸せを祈っている」と言っていました。

そんな、直接言ってもらえることなんかなかなかないと思うし、そう思ってくれる人がいるのは嬉しいことだと思いました。そんな、幸せで生きがいを感じている人が、フォーラムにはいっぱいいて、その人たちのことを見たり、話を聞いたりすることで、自分も、「ああ、今幸せかも」とちょっと思えて、全然話したことのない人の気持ちになれる感じがしました。人権学習の『ひとごと』から『わがごと』への意味が、なんとなくわかったような気がしました。人権学習で大切なのは、「自分のこととして捉える」ことだと思います。

フォーラムは、たくさんの人の考えを共有できて、すごいところだなと思いました。私は、小学生の頃は、語り合いの人権学習なんてやってこなかったし、この後やるなんて思っていなかったので、生きていたら何が起こるかわからないなと思いました。

伸二さんの娘さんにも、大変なことはあるかもしれないけど、それよりも幸せなことがあってほしいです。また、佐伯さんが、会が終わった後に、「ありがとう」と声をかけてくださって、今まで1回も話したことなかったのに、嬉しかったです。そして、帰るまで吉成先生たちと話して、和やかな雰囲気だったなと思います。私も、今日フォーラムに来ていた人たちの幸せを祈ってたいです。

○ 今日は、鳴門の人権地域フォーラムがありました。SさんとYさんが来ていたのでよかったです。でも、Kさんや高校生の2人が来ていなかったのが、残念でした。そして、講義が始まりました。

まず、パネリストの吉成先生は、部落差別のことや結婚差別について語ってくださいました。そこから僕は、たくさんの差別を知っていないだけで、過去にあった差別がなくなっているわけではないのだなと思いました。

伸二さんは、部落差別について語ってくださいました。大人になっても差別を受けて、それでも「何で」と言い返せるのがすごいです。もっと部落差別について話し合っていき、もっと、考えを深めようと思えました。

佐伯さんの語りからは、同和教育の大切さを学びました。佐伯さんは、いつも教材の制作をしてくださっているの、ありがたいです。自分も、人権教育のおかげで自分の本心をはっきりと言えることができました。中には、「同和教育をするから差別やいじめが起こるのだ」と言う人もいます。でも、私が考えるには、どんな人にでもいじめや差別をしてしまう心があり、同和教育・人権教育を学んでいなければストレスなどがたまった時、いじめや差別をしていいのだと思い、してしまうと思います。でも、同和教育・人権教育をすると、ストレスがたまったとしても、差別はしたためと学んでいるので、それをせずに周りから影響を及ぼされない方法でストレスを取ると思います。同和教育・人権教育は必要だと思います。

最後の語り合いで、自分も発表することができました。8月19日(土)のNHKの番組で見た在日コリアンの問題について話をさせて頂きました。その後も、何人かの人が手を挙げて発表していました。フォーラムの最後には、会場の集まった皆さんと谷村新司さんの「サライ」を歌いました。いい思い出になりました。次回は9月18日(月)の「人権こども塾」です。楽しみに待ちたいと思います。